



上越でかがやく若者たち

■問合せ…総合政策課（☎025-520-5624）

市の若者向け支援制度も活用いただきながら、市内でまちの活性化やにぎわい創出などに取り組んでいる、若者や団体を紹介します。

活動を始めたきっかけ

自分たちが暮らすまちについて、さまざまなものが「ない」とただ嘆くより、「こんなのあるといいよね」を自らの手で形にしたいと思い、2015年から仲間とともに活動を始めました。若者ならではの発想と行動力で地域課題を解決する取り組みなどにも挑戦し、経験豊富な皆さんから見守られ、支えてもらいながら、活動を進めています。



みらい会議の様子

上越若者みらい会議
いわさき しょうご
代表 岩崎 祥吾さん

若者が感じている「上越はつまらない」「出会いがない」「行くところがない」といった“ない”を、“楽しい”に変えるため、ワークショップの開催などを通じ、「上越が大好き」と誰もが思えるまちづくりを目指して活動中。

活動の目標

20〜30代の若者同士での新たなつながりを生み出すためのワークショップ「みらい会議」のほか、今年も「金谷フリーなマーケット」や南葉高原キャンプ場での「ニジマス釣り体験会」を実施しています。将来的には、市内28区で「みらい会議」を開催することで地域と若者をつなぎ、担い手不足や地域の活性化に寄与できればと考えています。



ニジマス釣り体験会の様子

同世代の若者に伝えたいこと

若者の自立心や地域愛などを育めるような地域活性化イベントを企画しています。

「あったらいいな、やってみよう」を形にして、「上越が大好き」と言えるようなまちを一緒につくりませんか。最新情報はインスタグラム(@j.wakamono)で発信していますので、気軽に参加してください。

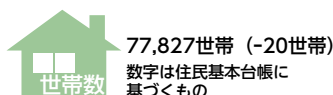
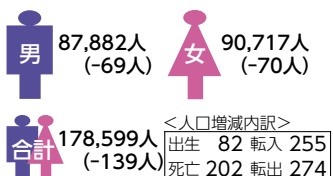
広報対話課から

☎025-526-5111

「広報上越11月号」は、10月23日㊥・24日㊤に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和7.9.1現在。（ ）は前月との比較



表紙のこぼれ：えちごトキめき鉄道開業10周年

私の日々の移動手段は自動車ですが、イベントなどへ出かけるときは、よく妙高はねうまラインを利用しています。2歳の子どもを連れて電車に乗ると、とても喜んでくれます。イベントに行くことだけでなく、電車での移動そのものも、楽しい思い出になっているようです。普段は利用機会が少ない人も、たまに電車で出かけてみてください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。